

地域に顔の見える運動を

東地協第10回総会で方針確認！



定期総会の様子

東地協は、2015年12月12日（土）、高知会館で「第10回定期総会」を開催した。総会では2015年度活動報告ならびに2016年度の活動方針を確認したほか、2016～2017年度の新役員を選出した。開会にあたって白木議長は「私たちにとってこの2015年は、安倍政権の労働者派遣法の改悪、安全保障関連法案の強行採決など大変な一年であった。東地協としても強行採決にいたるまでに、5月にキャラバン行動、そして9月に街頭行動を行い、地域に反対を訴えたが両法案を食い止めることができなかった。これ以上の安倍政権の暴走を食い止めるためにも来年夏の第24回参議院議員選挙でなんとしても

結集を各単組に呼びかけた。また、「地域に根ざした顔の見える運動をさらに進めながら、運動の拡充を図るとともに、取り組めていない活動にも積極的に関わり、活動の場を広げたい」と挨拶が行われた。

2016年度運動方針では、①連合高知の組織内と地域を東地協が繋いで仲間を増やしながら、地域づくりと暮らしを守る活動を進める、②地協を情報交換、意見交換の場として地協組織を充実する、③人材育成を図る、ことを一年間の柱にしていくことを確認した。

また、2016年度の運動の基軸として、(1)働くことを軸とする安心社会の実現を目指した社会運動に取り組む、(2)組織拡大に向けた取り組みの実施、

(3) ディーセントワークの実現を図る、(4) 政策制度の取り組みに全力をあげる、(5) 政治活動の積極的な取り組み、(6) 仕事と生活の調和、男女平等参画社会の推進を図ることを全会一致で確認した。



団結がんばろう

東地協に結集する組合員の皆さん！「働くことを軸とする安心社会」を実現するためには、私たちの運動に対する取り組み姿勢と行動が非常に重要になります。私たちがめざす社会の実現に向けてこの2016年度東地協方針の下、一緒になって取り組んでいきましょう！



白木議長の挨拶

勝利を勝ち取らなければならない。東地協も連合高知と連携して全力で取り組む」と述べ、組織への